

第5回小田原市市民活動推進委員会 会議録

- 1 日 時：平成28年3月12日（土）午後1時～2時
- 2 場 所：小田原市役所 601会議室
- 3 出席者：前田委員長、神馬副委員長、佐伯委員、益田委員、瀬戸委員、堀池委員、山田委員、芳川委員、石川委員、山崎委員

事務局：市川課長、府川副課長、村田係長、小澤主査、木村主事

- 4 欠席者：なし

- 5 資料：

・次第

・資料1 平成28年度小田原市市民活動応援補助金 第2次審査実施要領

・資料2 平成28年度小田原市市民活動応援補助金 第2次審査採点表

・資料3 公開プレゼンテーション資料

・資料4 市民活動団体における活動資源に関する調査（修正案）

※資料1から資料3までは非公開

- 6 会議内容

■ 開会あいさつ

■ 議題1「市民活動応援補助金第2次審査について」（非公開）

■ 議題2「諮問事項について」

委員長：それでは、議題2「諮問事項について」事務局から説明をお願いします。

（事務局 資料4に基づいて説明）

委員長：ただいまの説明で質問や意見はあるか。調査票をA4で4枚にしている理由はあるか。

事務局：前回、調査を行った際、FAXで提出された団体もいた。A4片面4枚以内にし、FAXでも回答しやすいようにしたいと考えている。

委員長：文量が多いと回答率が下がる可能性もあるが、今回はA4片面4枚で仕方ないと思う。団体へ送る際はページ番号をふった方が良い。

事務局：この調査票は、本日の委員会でご意見をふまえ、3月下旬に発送する予定である。集計結果は来年度に行う委員会でお示ししたいと考えている。

委員長：収入と支出は平成27年度実績を回答することになっているので、3月下旬に発送するというスケジュールで問題ないと思う。

委員：前回の調査票は、期間が短く回答しづらかった。

事務局：今回の調査票は、回答期間を1か月半程度設け、5月中旬を回答期限にする予定である。

委員長：回答率を上げるために督促をする場合もある。例えば、答えてくれた方にはお礼を送り、まだ答えていない方には督促を送るという方法で、70%の回答率を得た事例もある。

委員：タイトルの「活動資源」というのは一般的な言い方なのか。

委員長：資金以外に、人材や場所などを含めて「活動資源」という言葉を使っており、市からの諮問にもこの言葉が使われている。団体へ発送する際は、この調査票と一緒に依頼文が入るので、その中で説明の記載があれば良いと思う。

ほかに意見もないようなので、発送する前に修正等が生じた場合は、事務局と委員長とで調整をし、団体へ発送して良いか。

⇒委員了承

■ その他

委員長：その他について、事務局からお願いします。

事務局：それでは次回以降の会議の日程調整をさせていただく。まず、次回の第6回は、諮問事項と市民交流センターUMECOに関する報告となるので、会場をUMECOの会議室にし

たいと考えている。候補日は5月12日（木）と13日（金）の午後2時30分からである。

委員長：示された候補日では委員の都合が合わないため、5月19日（木）午後1時40分からとしたいがよろしいか。

⇒委員了承

事務局：続いて第7回の日程調整をさせていただく。第7回は、市民提案型協働事業と市民活動応援補助金の報告会となる。毎年、市役所の大会議室で開催していたが、より多くのかたに聞いていただきたい内容なので、第7回についてもUMECOで開催したいと考えている。候補日は6月30日（木）と7月1日（金）の午後5時30分からで、委員会での説明後、報告会会場に移動していただき、報告会を午後6時から3時間程度行う予定である。報告会は、外からも見えるように、活動エリアを中心に開催できるようUMECOの指定管理者と調整している。

委員長：それでは、7月1日（金）の午後5時30分からでよろしいか。

⇒委員了承

委員長：以上で、第5回小田原市市民活動推進委員会を終了する。